

平成30年度全国学力・学習状況調査における集計結果のお知らせ

金木犀の花の香りに、秋の気配を感じる季節となりました。保護者の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

平成30年4月17日に実施された6年生の全国学力・学習状況調査についての結果をまとめましたのでお知らせいたします。個人の結果を示す個人票につきましては、先日6年生に配付いたしました。調査結果について、本校の概要をお知らせします。なお、学校では調査結果で見えてきた課題について検討し、今後の児童の指導へと生かしていきたいと存じます。

調査は、国語、算数、理科、の3教科と学習習慣・生活習慣に関して調査いたしました。教科はそれぞれ問題の傾向によってAとBに分かれています。AとBの意図については次のようになります。

A：主として「知識」に関する問題

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心として出題

B：主として「活用」に関する問題

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容を中心として出題

分類	区分	平均正答率 (%)	
		本校	全国 (公立)
国語 A	話すこと・聞くこと	93.4	90.8
	書くこと	70.5	73.8
	読むこと	71.3	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.2	67.0
国語 B	話すこと・聞くこと	64.5	64.6
	書くこと	41.9	45.6
	読むこと	42.7	50.8
算数 A	数と計算	60.3	62.3
	量と測定	70.1	72.7
	図形	56.3	56.9
	数量関係	62.0	60.1
算数 B	数と計算	53.0	58.4
	量と測定	48.0	52.4
	図形	62.1	59.9
	数量関係	40.6	45.1

分類	区分	平均正答率 (%)	
		本校	全国 (公立)
理科 A	物質	58.1	59.8
	エネルギー	44.4	53.1
理科 B	生命	71.0	73.6
	地球	47.0	49.5

◆国語

- 「読むこと」に関して課題が残った。基礎基本となる、文章の中の大切な言葉に着目する力を付け、文章の内容を的確に押さえる力が付くよう指導していく。
- 自分の想像したことを表現する際、文章の構成を考えることに課題が残った。自分の考えをまとめたり、発表したりする機会を増やし、力を付けていく。
- 登場人物の心情の変化について、情景描写を基に捉える力をつけたい。読書量を増やし、様々な表現があることを知り、その情景の意味を捉えられるようにしていく。

◆算数

- 図形に関する問題は全国平均を上回り、比較的、身に付いていると言える。
- 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味の理解が不十分だった。立式の仕方、正しい計算方法を、繰り返し練習することで身に付けていく。
- 全体を通して、問題の意味をしっかりと捉えることができていない場合が多く見られた。国語の読む力を付けながら、じっくり問題を読み、問題の意味を的確に捉えられるように指導していく。

◆理科

- 実験結果を基に分析、考察をしてその内容を記述できる力に課題が残った。授業で行う実験の意味や方法、実験結果の記録、考察をしっかりとめることができるよう指導していく。また、自分の考えをまとめ、発表する機会を増やし定着を図っていく。

<生活習慣・学習習慣について> ※数値は、肯定の回答率

特徴的な項目	本校 (%)	全国 (%)
家で計画を立てて勉強をしていますか。	58.0	67.6
家で予習復習などの自学自習をしていますか。	56.4	69.9
放課後の学習時間	・ 2時間以上	35.5
	・ 30分未満	14.5
放課後、何をして過ごしていますか。	・ 友達と遊ぶ	90.3
	・ 勉強や読書	48.4
家の人と学校のことを話していますか。	72.6	80.5
地域や社会をよくするために、何をすべきか考えることがありますか。	35.5	49.9
地域などでボランティア活動に参加したことがありますか。	27.4	36.1

質問紙調査結果から、特徴的な項目について全国平均と本校を比べて

- ・自分で計画的に学習する、進んで学習に取り組む意識がやや低い。
- ・放課後の学習時間が「2時間以上」または、「30分未満」の児童の割合が多く、学習時間に大きな開きが見られた。調査結果を見ても、得点数の開きが大きい。
- ・放課後、「勉強や読書」をしている児童が少なく「友達と遊ぶ」児童が多い。
- ・家の人とのコミュニケーションや地域への関心がやや低い。